

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

『死ぬまで生きる』プロジェクトの実現～農福連携で多様なヒトが育む結の精神～
 私たちは、2015年に国連において採択された「持続可能な2030年までの開発目標(SDGs)」を国際社会の重要な目標と捉え、企業の経済的価値の追求と社会課題の解決を両立させることにより、従業員の幸せ、生産者の幸せ、社会の幸せの実現に貢献します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	フードロスの減少	・規格外や未利用資源を活用した商品・メニュー開発 2020年 4品 2024年 7品 2030年 20品 ・規格外や未利用資源を活用した防災食の開発・販売 2020年 0品 2024年 1品 2030年 5品
○環境 ◎社会 ○経済	高齢者の生きがい創造と自立支援	・「死ぬまで生きるプロジェクト」実現による、相互扶助の精神復活と制度確立

<パートナーシップ>

弊社は以下の事業所・企業、地域、行政・支援団体等と連携し、上述した重点的な取組について推進する。

【生産者】株式会社むらた、有限会社むらた活魚、有限会社田脇水産、株式会社夢アグリ、株式会社吉田レモニー、そそぎ種豚場等県内外の一次生産企業や事業所

【企業】ホテル日航熊本、株式会社JEM、グローフーズ株式会社、株式会社山形屋、有限会社リネット、有限会社宇城会計センター等

【地域】上天草市、天草市、球磨村、鹿児島県熊毛郡中種子町等

【支援機関】6次産業化中央・熊本県サポートセンター、熊本商工会議所、熊本県商工会連合会、ミラサポ、よろず支援拠点、熊本県産業技術センター等

【団体】一般社団法人地方経済総合研究所、九州バイオクラスター協議会

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。